

# 法音

今月の  
ご法話

言葉の力

日蓮宗

法音寺

令和2年

12月号

No.614

# 知恩報恩

## 感謝と親切

今日一日、  
受けた恩に感謝しましょう。  
恩を忘れぬ人は信頼されます。  
今日一日、  
人に親切にしましょう。  
人が喜び、自分もうれしい。  
仏の教えは  
知恩報恩の人となることです。

### 月刊・法音 令和2年12月号 No.614 目次

【信仰の指針】一心いっしん 精進の中に楽ありです  
【朝のこない夜はない】

#### 言葉の力

山首 鈴木正修

- ◆ 講日のご案内 19
- ◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20
- ◆ 全山一斉清掃奉仕 22
- ◆ 法音寺動画更新のお知らせ 25
- ◆ お題目写経ご協力のお願い 26
- ◆ 仏教まんが・感謝とお誓い 27
- ◆ 晦日参りと新年祝祷会 35
- ◆ 知つているようで知らなかつた!?法音寺のこと⑫ 38
- ◆ お寺の本棚 42
- ◆ のりのね体験 44
- ◆ 支院だより 47
- ◆ 福祉のひろば 44
- 幸せのお手伝い 64
- 昭徳会・令和3年度採用職員 コロナ禍での内定式 66
- 日本福祉大学大学院「スポーツ科学研究科」2021年4月開設 68
- ◆ 賛助員ご芳名 70
- ◆ 幸せの種まき／編集後記 72
- ◆ 連載まんが・ひまわり・95 心の声が聞こえる 73
- ◆ 法音寺物語 72
- ◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 70

#### 表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・ダリア

掲載写真 表紙・信仰の指針・3～19頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

一心いっしん

精進  
の中に  
樂ありです

日教五



ムラサキシキブ



# 朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

# 言葉の力

NPO法人、自殺防止ネットワーク風、代表の曹洞宗長寿院・篠原鋭一住職は、悩める人達のために昼夜を問わず電話相談に応じられています。新型コロナウイルスが蔓延してから電話がひっきりなしにかかってくるようになったそうです。そんな中、東京在住の38歳の男性が弱々しい声で電話してきました。

「妻が3歳になる男の子を連れて実家に帰りましたが、昨日、離婚届が送られてきました。私の勤務している会社は東京ですから、マンションを買って家庭を作りました。ところがコロナ騒ぎが起ると妻が訴えました。

『田舎に引っ越そうよ。この子がコロナにかかったらどうするの。あなたが嫌なら、私はこの子と二人で実家に帰るわ。あなたも来る？残るなら離婚して』



もちろん反対しました。だって私の勤め先は東京ですから離れることはできません。まあ一時的なものだろうと思っていたのですが、送られてきた離婚届を見てびっくりしました。すぐに電話をすると彼女のお母さんが出て『あんた、娘だけじゃなく、可愛い孫まで殺すつもり？離婚届に早く判を押して送り返さない』と叫ぶように言われました。私は一体どうしたら良いのですか」

篠原住職のところには、このようなコロナ離婚で悩む人やコロナで失業した人などから相談の電話がかかってきます。ある晩のことです。ある男性が嗚咽しながら電話をかけてきました。

「今、海に向かってるんだ。飛び込むしかねえよ。女房は先に首くくっちゃまった。寿司屋をやってよう。やっど十年。何とかやっていける」と喜んだとたんコロナだ。店を放り投げてきたんだ。だってよう、大借金が



あるんだよ。今頃、借金取りが来てあわててるだろう。仕方ねえよ。もう帰れねえ。住職のことをテレビで見たんだ。誰かに話して死にたかったんだ。住職さん、聞いてくれてありがとう。じゃあ行くから」

篠原住職は「ちょっと待って。どこにいるの。私の所まで来ないか。急ぐことはない」と話しかけました。するとその男性は「気が変わって生きていたら会いに行きますよ。ありがとうね」と言ったそうです。この後、男性から「住職、私生きていますから。お訪ねしてもいいですか」と電話があり、篠原住職は安堵されたそうです。この篠原住職の仲間には超党派で自死防止活動に取り組んでいる衆議院議員がいます。その方から「東京で商売が立ち行かなくなると、自殺をする人が増えていきます。住職、どうしたらいいでしょうか」と相談がありました。その時に篠原住職の頭に坂村真民さんの詩が浮かんだそうです。



鳥は飛ばねばならぬ  
人は生きねばならぬ  
怒とうの海を飛びゆく鳥のように  
混沌の世に生きねばならぬ  
鳥は本能的に暗黒を突破すれば  
光明の島に着くことを知っている  
そのように人も  
一寸先は闇ではなく  
光であることを知らねばならぬ  
新しい年を迎えた日の朝  
わたしに与えられた命題  
鳥は飛ばねばならぬ  
人は生きねばならぬ

この詩は真民さんが、ある年の元旦の未明に、宇宙の  
大心霊から受けた感応だということです。真民さんは



「未明<sup>みめい</sup>というのは、この宇宙<sup>うちゅう</sup>が電波<sup>でんぱ</sup>のように動いていく時<sup>とき</sup>です。暗い世界<sup>せかい</sup>から明<sup>あか</sup>るい世界<sup>せかい</sup>、陰<sup>かげ</sup>の世界<sup>せかい</sup>から陽<sup>ひ</sup>の世界<sup>せかい</sup>、あらゆるものが動いていく。そこに、じっと身を置<sup>お</sup>いて、その電波<sup>でんぱ</sup>を受けて詩<sup>し</sup>が生まれてくる。だから、宇宙<sup>うちゅう</sup>の電波<sup>でんぱ</sup>というか靈氣<sup>れいき</sup>というか、そういうものが僕の体<sup>たい</sup>の中<sup>なか</sup>に入<sup>はい</sup>ってそれが言葉<sup>ことば</sup>となつているように感じるのです。『鳥<sup>とり</sup>は飛ばねばならぬ』という詩<sup>し</sup>も、ある年<sup>とし</sup>の元旦<sup>がんたん</sup>、未明<sup>みめい</sup>混沌<sup>こんどん</sup>の靈氣<sup>れいき</sup>の中<sup>なか</sup>で打坐<sup>だざ</sup>し生まれました。釈尊<sup>じやくそん</sup>が八十年<sup>はちじゅうねん</sup>の生涯<sup>しょうがい</sup>をもって示<sup>しめ</sup>されたのは、『人<sup>ひと</sup>は生きねばならぬ』ということだっただと思<sup>おも</sup>います」と語<sup>かた</sup>っています。今<sup>いま</sup>、コロナ禍<sup>か</sup>で深い闇<sup>やみ</sup>の中<sup>なか</sup>にいるような気がしますが、絶対<sup>ぜったい</sup>に闇<sup>やみ</sup>は明<sup>あ</sup>けます。光明<sup>こうみやう</sup>がさしてきます。「朝<sup>あさ</sup>の来<sup>こ</sup>ない夜<sup>よる</sup>はない」のです。そう信<sup>しん</sup>じて生きなければいけません。

坂村真民<sup>さかむらしんみん</sup>さんは仏教詩人<sup>ぶつぎょうしじん</sup>として有名<sup>ゆうめい</sup>です。その詩<sup>し</sup>を詠<sup>よ</sup>



んで多くの方が感動し、癒されています。その詩には深い祈りがこもっているからです。一人に幸せになっても  
らいたい。よくなってもらいたい。という菩薩のよう  
な祈りです。一番有名な詩は「念ずれば花ひらく」だと思  
います。

念ずれば花ひらく

苦しいとき

母がいつも口にしていた

このことばを

わたしもいつのころからか

となえるようになった

そうしてそのたび

わたしの花がふしぎと

ひとつひとつ

ひらいていった



この詩碑が今、全国各地にあります。この詩に出会った人が感動して詩碑を建てているのです。最初は京都の帯屋さんです。「念ずれば花ひらく」の言葉に大感動して、真民さんにわざわざ四国まで会いに行かれたそうです。この方は四つ詩碑を建てられました。真民さんは「念ずれば花ひらく」を「八字十音の真言」と言われています。「念ずれば花ひらく」は八字、読めば十音ということです。真言とは、仏さまの言葉、ということなのです。

私の高校の時の同級生に、元気が良すぎて、よく指導を受ける生徒がいました。ある時、生徒指導部の先生に罰として頭を刈られました。普通の生徒ですと恥ずかしくて帽子を目深にかぶって隠そうとしますが、彼は次の日ツルツルの頭で登校しました。「どうしたのか」と尋ねると、「剃って卵の白身で磨いてきた」と言いました。そんな破天荒な彼が就職してから、毎朝始業時間の二時



間ぐらい前に入社して、会社の周りを掃除してみんなの机を拭いているというのです。その変わりように、理由を聞いてみると「すばらしい詩に出会ったんだ。『念ずれば花ひらく』だよ」と言うのです。彼は今では会社を二つ経営しています。真民さんの詩の力です。

「念ずれば花ひらく」は真民さんのお母さんの口癖でした。お父さんが42歳の厄年を前に癌で亡くなりました。お母さんはその時38歳、真民さんは8歳でした。その下に4人兄弟がいました。それからどん底の生活が始まりました。おばあさんがやって来て、「上の3人はどこかにやるか、奉公に出すかせよ。下の2人だけを連れて帰ってこい」と強く、お母さんに迫りました。しかし、お母さんはおばあさんの言葉を受け入れませんでした。何の蓄えもない中、お母さんは女手一つで5人の子を育てました。その時にいつも、口にしていたのが「念ずれば



花はなひらく」です。普通ふつうの人ひとであれば、「つらい」とか「苦くるしい」といった愚痴ぐちが出来ます。愚痴ぐちの代かわりに「念ねんずれば花はなひらく」とお母かあさんは口くちにしていたのです。

この詩しができたのは、真民しんみんさんが46歳さいの時ときです。当時とうじ真民しんみんさんは体からだがどんどん弱よわっていききました。肝臓癌かんぞうがん、すい臓癌すいぞうがん、胃癌いがん、そして目めも見えなくなりました。その時ときは横よこになることさえできない状態じょうたいでした。座布団ざぶとんを重ねかさねて、それにもたれて何日なんにちも過すごし、水みずを飲のんでも内臓ないぞうが焼やけるようだったそうです。その時とき、〃このまま死しんで命いのちがけて育そだててくれた母ははに申もうし訳わけない。母ははの労苦ろうくに報むくいず死しんではいけない〃と深ふかく思おもい、靈感れいかんのように浮うかんだのが「念ねんずれば花はなひらく」だったのです。それから奇跡きせきのように病氣びょうきが治なわっていったのです。目めも辞書じしょの字じが見みえるようになりました。真民しんみんさんにとって「念ねんずれば花はなひらく」は祈いのりの言葉ことばであり、不ふ屈くつの魂たましいことばの言葉ことばであり、未み来らいを切きり開ひらく言葉ことばだったのです。



「念ずれば花ひらく」の詩が生まれた時、真民さんは次のような日蓮聖人の願文を唱えていたといえます。

「只妙法蓮華經の七字五字を日本国の一切衆生の口に入れんとはげむ計りなり。此即ち母の赤子の口に乳を入れんとはげむ慈悲なり」

真民さんの中に靈感のようにこの日蓮聖人の願文が入ってきて、この思いに相通ずる「念ずれば花ひらく」が八文字の真民さん独自の真言となったと言われています。『念ずれば花ひらく』を世の多くの人々に伝えたい。

すべての人を幸せに導いてあげたい。真民さんはこれを「衆生無辺誓願度」の誓いだと言われています。

真民さんは8歳でお父さんを亡くしてから、ずっと夜中の2時に起きていました（晩年は0時に起きられました）。起きると誰も汲んでいない井戸の水を汲んでお父さんのお舍利さんに、毎日お水を供えていました。真民



さんは真夜中に起きて、祈りを込めます。すべての人が幸せになりますように。生きとし生けるものが平和でありますように。そして、夜明け前の混沌とした中で宇宙の靈氣や月の光、星の光を受け、天からの言葉を受けとるのです。

真民さんは毎月、祈りを込めた詩集『詩国』を無料で配布されていきました。ある時、愛媛県の松山の本屋さんで女性の方が何冊も真民さんの詩集を買っていました。たまたま居合わせた真民さんがその女性に「その詩集はあなたが読まれるのですか」と尋ねると、「違います。私は刑務所に勤めているのですが、その受刑者に頼まれて買いにきたのです」と言いました。それを聞いて、受刑者というのは今、一つの闇の中にいる。その人達に光をあててあげたい。その心を癒してあげたい。と思われました。すぐに翌日、刑務所を訪ねて、全国の刑務所に「詩集を送りたい」と伝えると、法務局を通じて、



真民さんの詩集が全国の刑務所に送り届けられることになりました。

詩というのは不思議な力があります。言葉が生きていくのです。詩は大いなる言霊なのです。

児童文学作家の寮美千子さんという方がいます。寮さんは奈良の少年刑務所で詩の授業をされていました。この方の著書に『空が青いから白を選んだのです』という一冊があります。本の題名は「雲」という題の一行の詩です。これを作ったのは少年受刑者です。「空が青いから私は白という色を選んで雲になって浮かんでいるんです」という一人称の詩です。いつも発表の時、作った本人にその詩を読んでもらうのですが、この詩を作った子はうまく読めませんでした。薬物中毒の後遺症とお父さんに金属バットで頭を殴られたからです。そのことで言語障害になってなかなかうまく喋れないのです。寮さん



が「ごめん、よく聞こえなかったから、もう少しゆっくり読んでもらえるかな」と言うと、その子は何度か読み返した後には、はっきりと聞こえるように「空が青いから白を選んだのです」と言いました。それを聞いた瞬間、まわりから大拍手が起りました。するとその少年が「先生、話したいことがあるんです。話していいですか」と言いました。寮さんが「どうぞ」と言うと、その子が話しました。

「僕のお母さんは今年で七回忌です。お母さんは体が弱かった。けれどお父さんはいつもお母さんを殴っていました。僕はまだ小さかったので、お母さんを守ってあげることができませんでした。お母さんが病院で亡くなる前に僕にこう言いました。

『つらくなったら空を見てね。お母さんはそこにいらるからね』

僕はお母さんのことを思い、お母さんの気持ちになっ



てこの詩を書いてみました」

寮さんは胸がいっぱいになりました。いつも「感想は？」とみんなに聞くのですが、この時は聞く前に手がたくさんあがりました。そこには「僕は、〇〇君はこの詩を書いただけで立派に親孝行したと思います」というやさしい意見があり、「〇〇君のお母さんはきつと雲みたいにふわふわで、やわらかくて優しい人なんだと思います」という感想もありました。また勢いよく手をあげたけど、なかなか話せずにいた子が絞り出すように、「僕はお母さんを知りません。でもこの詩を読んで空を見上げたら、お母さんに会えるような気がしてきました」と言っつてわあっと泣き出してしまいました。その泣いた子を「今まで頑張ってきたんだね。一人で頑張ってきたんだね。寂しかったんだね。大変だったんだね」と、みんなが慰めてくれました。その時、寮さんは、本当に最初に聞いた通りなのかな、と思いました。最初に聞いたの



は子ども達の犯罪歴です。強盗、殺人、婦女暴行、放火、  
覚せい剤、そういう罪があると、いふことです。〃本当に  
そんな罪を犯してきたのだろうか」と寮さんは思ったの  
です。この「お母さんを知りません」と言った子は、刑  
務所に入ってから自分の罪の大きさにおののいて、何度  
も手首を切る自殺未遂をしていました。刑務所では自傷  
行為をすると慰められるのではなく、罰を与えられます。  
独房に何日も入れられるのです。それを繰り返していま  
したが、「空が青いから…」の詩を聞き、「僕はお母さ  
んを知りません」と公に表明してから、ピタッと自傷行  
為が止まりました。そしてそれまではいつも下を向いて  
曲がっていた背中が伸びてきました。笑顔まで見せるよ  
うになりました。ハカ月間授業がありました。それが  
終わって半年程してから、寮さんはまたその子と会いま  
した。

その子は胸を張って寮さんに「先生、僕、作業所で副



班長はんちやうになりました」と言いいました。いつもみんなからお荷物にもつあつか扱いあつかされていた少年しょうねんが副班長ふくはんちやうになったのです。さらに「最近さいきん、僕は休み時間やすひじかんにみんなの人生相談じんせいさうだんを受けています」と言いうのです。寮さんりやうは「このようなことが次つぎから次つぎに起おきました」と言いわれています。

詩しには不思議ふしぎな力ちからがあります。心こころの扉ひらを開ひらき、運命うんめいの扉ひらを開ひらく力ちからです。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では  
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	12月2日(水)	安城支院	12月6日(日)
安芸津支院	12月13日(日)	亀岡布教所	12月14日(月)
岡山支院	12月20日(日)		

# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	6日・12日・26日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・20日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・19日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・13日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	6日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・20日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日・31日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	6日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	13日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	6日・13日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	12日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	6日・8日・20日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・20日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	12日・20日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	6日・13日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	13日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	6日・15日・20日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)441-5445
筑後布教所	13日・27日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	13日・27日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・27日・31日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・25日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	14日・27日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

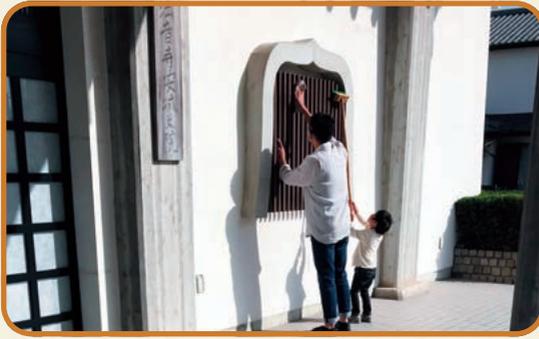
青少年育成委員会主催

# 『全山一斉清掃奉仕の日』

全国の各支院や布教所で、

近隣の落葉集めや清掃を行いました。

※台風の影響で一部地域では実施されませんでした。



◇ ふたりでお掃除したよ! ◇





◇ 地域へ感謝を込めて... ◇



◇ 毎日を気持ちよく暮らす為に  
私たちの住む町をキレイに！ ◇



※お送りいただいた写真を掲載させていただきました。  
それぞれの支院・布教所名は省かせていただきましたがご了承ください。

## 【はじめての仏教シリーズ #2】 お焼香の意味と作法

仏教・お寺に関する、意外と知らない意味や歴史等の知識を、  
わかりやすく解説していきます。



解説・動画製作：鈴木廣修上人

第二弾は「お焼香」について。皆さまも普段行っているお焼香について、改めて意識してみましょう。



お香の香りは  
煙から出ている  
のではない?!



気になる作法…。  
しかしお焼香で  
大切なことは  
「心」です。



皆さま ぜひご覧ください。

▶ YouTube はじめての仏教動画はこちら →

<https://youtu.be/M0DemLgu2gk>



# 法音寺・除災の祈り お題目写経ご協力をお願い

一人ひとりが心を込めてお題目を書写し  
真心を結集して新型コロナウイルスを成仏させましょう

「世の中は新型コロナウイルスにより国難と言っても過言ではない状況となっております。  
この国難打開の道は、僧俗一体となつての行住坐臥の唱題と、妙法三徳の実践のほかありません。  
檀信徒の皆さんにお願いがございます。

私達一人ひとりがより一層の功德を累ね、その功德力によってウイルスを成仏せしめ、  
一日も早くこの窮状から脱却できるよう諸天善神にご祈念申し上げたいのです。  
今こそ法華経・法音寺三徳が真価を発揮する時です。どうか宜しく願ひいたします」  
(山首上人さまのお手紙より)

## ● お題目写経 参加方法 ●

1 写経用紙(B5判)は、支院・布教所で求めください。  
1枚につき100円のご供養をお願いします。

2 心を込めて書写しましょう。家族・親戚・友人・  
知人・縁ある方にもお勧めください。(代筆可)

3 書写したお題目を各支院・布教所に  
ご提出ください。

コロナが  
終息するまで  
引き続きご祈念  
いたします。

皆さまも引き続き  
ご参加ください。

山首上人さまが皆さまのお題目と共に祈念されます。

お題目写経にご協力いただいた方には、  
除災難散華(限定デザイン)を  
お贈りいたします。



※お問い合わせは各支院・布教所まで













それは 怒ったり  
愚痴をこぼしたり  
もつともつと  
欲深く…

いつのまにか  
気づかないうち  
心に煩惱という  
汚れがついて  
しまうのです



それに気づき  
自らを反省し  
懺悔する

少しでも  
心を清らかに  
すること

あ  
心まで清らかに  
なるようじゃ



ありがた  
かったこと…



そうして  
きれいになった心に  
感謝の思いを  
込めること

無事に一年を過ごせたことや  
ありがたいと思えたことで  
心を満たすのです



感謝の心で一年を  
しめくり 新たな心で  
新年を迎える

両方  
お参りすることを  
お勧めしますよ

ありがとう  
ございました

新！母さんお掃除の  
お手伝いしていくから  
二人で先に帰って



お徳のお陰ね  
お礼のお参りを  
しましょうね



おばあちゃん  
すっかり元気に  
なつて良かったあ



あ  
あの  
おじいちゃん



それが  
お上人さまの  
おっしゃる煩惱  
なのかな

僕なんか出かける時  
面倒なつて思つたし  
母さんと一緒なもの  
恥ずかしかつた



さつちゃんは  
一人でちゃんと  
お寺に来ていて  
偉いよな

そつかな



僕も反省して  
心の汚れはちゃんと  
掃除しとかなきゃな



さつき  
言つてたんだよ  
「心が清らかに」  
つて  
とつても  
いい笑顔  
してるんだ



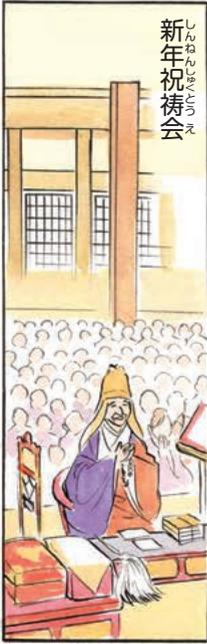
そつ  
良かったね

仏さまと  
お上人さまの  
お陰だわ

私の友達の  
お父さんが  
元氣になつて  
退院できたの



私もねさつき  
すれちがつた二人を  
見て思つたの  
ああ一年を  
感謝しなきゃつて



## 晦日参りと新年祝祷会

### 晦日参りと新年祝祷会

晦日参りと初詣の由来は、古来日本で行われていた「年籠（としごもり）」という行事にあると言われています。年籠とは家長が大晦日の夜から元旦の朝にかけて氏神さまのもとへ籠もり、一年の感謝と新しい年への祈願を行うものでした。この年籠が2つに分かれ、大晦日の参拝⇨晦日参り、元旦の参詣⇨初詣となりました。

年初めに行われる法要を「新年祝祷会」と呼びます。新しい年を迎え、社会の平和と一年の幸福を願って勤められる法要です。

日蓮聖人は御遺文で「元旦は一日の始まりはもちろん、十二月ある月の初めであり、一年の初めであり、春・夏・秋・冬の四季の始めでもあります。毎月の一日とは違うことを思っ、信心修行に励むならば、徳もまさって、周囲の人達から大切にされるようになります」と教えてくださっています。

### お正月の飾りつけ

12月29日は「苦待つ」や「苦立て」に通じる



ことから嫌われ、31日も「一夜飾り」を忌む風習から避けられるのが習慣です。これは、一日だけでは、神さまをお迎えする誠意が足りないうつらいついで、正月の飾りつけはすべて30日までに終わるようになります。

#### ・門松

年神さまをお迎えするための目印としての「神の依代」（神さまが最初に降りてこられる場所）として飾ったものと考えられています。門松は1月7日には片づけますが、それまでの神さまがいらっしゃるちは「松の内」といわれます。

#### ・しめ飾り

神を祀る清浄な場所であることを示す印として飾られます。神社や神棚には年中飾られているのはそのためです。正月のしめ飾りは、家の中にある古い年の不浄を払い清めるために、玄関正面の軒下に吊るするのが一般的です。

#### ・床の間飾り

正月のお飾りは、床の間のお飾りが中心となります。かつては、床の間は仏間とされており、部屋の中では次第に上座と変化しました。押し板の上に香炉を中心に、左に花、右に燭台を飾ります。その向こうに仏画をかけて、床を飾るようになりました。鏡餅は脇床に飾り

ます。現代では各家庭なりに、おめでたい掛け軸をかけ、鏡餅、生け花、屠蘇器、干支にちなんだ置物などが飾られています。

### ・鏡餅

もちしんせんは古くから神饌（神の食物）として用いられてきました。正月には、年神さまへのお供え物として、鏡餅を床の間に飾ります。鏡餅の由来は、古代の鏡は丸い形をしていたのですが、それに似ていることから名づけられたという説があります。

### ・お屠蘇

元旦または正月三が日の朝、新年の挨拶を交わしたあとに、一年の邪気を払い、一家が無病息災に暮らせるように願って飲む祝い酒を「お屠蘇」といいます。お雑煮などは、お屠蘇の後にいただくのが正式です。屠蘇の「屠」は、屠る（退治する）という意味、「蘇」は病を起こす悪魔という意味です。つまり魔除けの薬ということで、中国の俗信が日本に伝わりました。



知っているようで知らなかった!?

# 法音寺のこと ⑫

## 財団法人・大乘報恩会

昭和7年、たつ（杉山辰子先生）が無上道へ旅立ち、2代目会長には、たつとともに救済会発展の礎を築いた村上（村上齋先生）が就任しました。昭和9年6月、社会事業活動を一層充実させるため財団法人・大乘報恩会が設立され、仏教感化救済会の事業のすべてが継承されることになりました。

昭和9年、大乘報恩会は愛知県・猪高村藤森に育児院・明德寮を開設し、貧困家庭の児童や虐待されて苦しむ子ども達を収



▲藤森・大仏殿前にて

◀藤森事業所・明德寮の一部



容しました。それはたつが生前夢見て果たせなかった理想の実現でした。寮は雑木林の中にあり、子ども達にとっては小鳥や昆虫、野の花が遊び友達で、暑い時には池で泳ぐこともできました。夜になれば池の周りにたくさん蛍が飛び交う、自然豊かな環境でした。

順調に始まり、評判の良かった明德寮でしたが、ある日突然悲しい事件が起こります。夏休み最後の日、枕元にランドセルと宿題を並べて機嫌良く寝た少年が、午後9時頃急に苦しみ出したのです。

「早くお医者さんを呼んでこなくちゃ！」

みんなが悲痛な声を上げましたが、明德寮は人里遠く離れています。近くに病院はなく、電話もなければ、車もありません。

「名古屋から医者連れてきてやるからな。それまで頑張るんだぞ！」

施設に泊まり込んでいた人が、真っ暗闇の中を自転車で



走り出していきました。しかし、手遅れでした。苦しみ出して数時間後、なすすべなく幼い命の灯が消えました。病名は子どもをよくかかる伝染病・疫痢（えきり）でした。

明け方、急の知らせを聞いた修一郎（後の御開山上人）が駆け込んできました。

修一郎は、少年の名前を呼び続けましたが、その目が再び開くことはありませんでした。修一郎はあたりかまわず号泣しました。その姿は、我が子を失った実の父親のようでした。さらにその後、生まれつき心臓の悪かった少女の命も消えていきました。

〃大勢の子どもを育てるには、子ども達の近くに医者を置く必要がある。そのためには設備のある便利な所、連絡のつきやすい所を選ぶべきだったのだ。私の思慮が足りなかった…〃

修一郎は直ちに、土地を探し始めました。もう二度と、手遅





れで子どもたちの命が失われるという悲しい出来事に遭いたくない。何度も何度も足を運んで手に入れたのが、名古屋市昭和区駒方町三の三（現在の法音寺の場所）でした。

信者達が総動員で連日地ならしをして、最初に取りかかったのが養護施設（現在の駒方寮）の建設でした。

施設の子どもが病気になった時、少しでも早く医者に診てもらえる便利な場所。いや、いっそのこと施設内に自前の診療所を作ろう。両親が安心して働けるように保育園も作ろう。もちろん修養道場も。そして、大乗報恩会の事務所もここに作るのだ。

すべての施設をこの地に集め、法華経を実行し、さらに前進するための基地を作ろうと考えたのでした。

### 参考文献

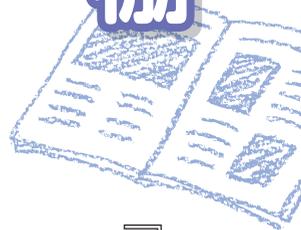


御開山上人伝  
『泰山』第二話





# お寺の本棚



『村上先生御法話集』第二巻

## 人から喜ばれる怒らぬ人

徳を積むにはどうすればよろしいかと申しますれば、妙法の実行よりほかに方法はありません。皆さんも仏教を研究してみてくださいと初めて、妙法の偉大なる力、及び利益、すなわち作用がわかりになります。私は種々なる体験によって、徳の人となるには妙法よりほかにないことを知りましたので、この徳の得られる道をお教えして、万分の御恩報じとしたいと考えているのであります。なお皆様方の信念の次第によって、私の積みました徳をもお分かちしたいと思っておりますのであります。

皆さんよく考えてみてください。人から喜ばれる人は怒らぬ人です。ニコニコしている人です。施しの好きな人です。腹立たずニコニコして施しの好きな人に限って富を持っています。それは徳です。富があるのでニコニコするのでなく、ニコニコして善き種をまかれるから、その種によって財が自然に集まるのです。人から嫌われる人は腹立ち易い人、施しのない人、愚痴の多い人





です。腹を立て、愚痴を言うことは、ついには他人より排斥せられて居り場がなくなってしまう  
ます。

かような事実は世間を見渡せばすぐおわかりになります。世の中から喜ばれる人、徳のある人  
となりたいたらば堪忍をしましょう。喜びましょう。分に応じて施しましょう。これが仏道であ  
ります。かように仏の道を通るから仏の住所にも到れます。自らの住んでいるところが極楽とな  
り、またその国も極楽となります。極楽の道というは、この仏道よりほかにはないのであります。  
私はこの仏道を行じて、我が日本を世界の範たる国といたしたい念願を持ってあります。この  
念願の叶った時が、一閻浮提に妙法の広宣流布した時であると思っております。

皆さん、狭い心をやめて広い大きな気になって、妙法の実行に励んで下さい。真の平和は仏道  
に依って完成することができます。

私はこの道にいそしみ、ご援助くださる方々にいやが上にも諸天に擁護して頂くようにお願い  
しております。どうかよろしく修養にお励み頂きますようお願いする次第であります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所  
までお問い合わせください。

ひろば

福祉の



# 幸せのお手伝い

（過去に感謝をしながら  
保育をしていきたい）

## 園児と保護者の方との出逢い

小さい頃からの夢であった保育士として私が働き始めて、10年が経ちました。保育園は毎年、3月になると約40名の子ども達を小学校へ送り出し、4月にはまた新たな子ども達を迎え入れます。これまでの10年間を振り返ると、本当にたくさんのお出逢いがありました。

その中でも私は、2年目に担任をしていた園児と保護者の方との出逢いにとっても感謝しています。憧れだった保育士として働き始めた私は、毎日が

無我夢中で、保育をすることに必死でした。その中で大きな事故を経験したのです。手洗いをしようとし、手洗い場に駆け寄っていった3歳の女の子。その際に、段差につまずき転倒。転倒した先は、ホースの金具がついた蛇口で、目頭を切る大怪我をさせてしまいました。泣いている園児を病院に連れて行き、応急処置をしてもらいました。医師の所見では、「傷口が深いため縫うことになる。傷跡は、大人になるにつれてだんだん薄くなっていくが消えないかもしれない」とのことでした。怪我をさせてしまったことへの罪悪感、保護

者はどう感じるのだろうか、などさまざまな思いが私の心の中にこみ上げてきました。しかし、保護者の方は私を責めることはせず、「子どもだからだけ気をつけていても怪我をすることはある」と、逆に励ましてくださいました。

園児や保護者の方を悲しませる事故を起こし、保育が怖くなったこともありましたが、保護者の方に支えていただく経験をした私だからこそ、できることがある」と信じ、今まで保育の専門性を学び続けてきました。子どもが事故にあつ危険性を知り、安全対策をとることで、リスクを最小限に減らす努力をしてきました。昨年、かつての園児が「小学校を卒業した」と園に会いに来てくれました。成長した姿を見ることができたことを本当にうれしく思い、この仕事ますます好きに

なりました。これからも子どものかげがえのない命を預かる保育士としての知識や技術を身につけ、安心安全な保育の徹底をめざし、過去に感謝をしながら保育をしていきたいと思えます。

天王保育園 グループリーダー（保育士） 伊藤 舞



## 令和3年度採用職員 コロナ禍での内定式



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会  
～『真の福祉人』としての活躍を期待～

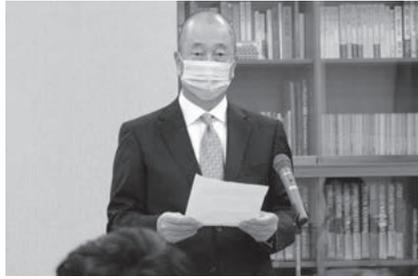
令和2年11月2日、法音寺に於て「令和3年度採用職員内定式」が開催されました。

今年度の内定式は、新型コロナウイルスの影響により、開催できず心配されましたが、感染予防対策を講じてなんとか開催することができました。また、今年2月から総合就職イベントや学校主催の就職相談会がすべて中止。学校訪問もできず、学生と出会う機会が断たれ、とても厳しい採用活動が続きましたが、22名（内定者数28名）の内定者が参加しました。

内定式では、鈴木正修理事長（法音寺・山首上人）より内定者に向けて次のお言葉が贈られました。

「昭徳会は、明治42年1月に杉山辰子先生が創立された仏教感化救済会内に作られた育兒院がその淵源です。杉山先生は仏教最高の經典である法華經に説





かれる菩薩行の実践として、社会福祉事業を始められました。菩薩行とは、インドのマザー・テレサがされたような行いです。〝自己の利害を超えて社会の弱者のために尽くす〟ということです。マザーの言葉で私が非常に印象に残っている言葉があります。『どんなに

悲惨な境遇の人でも最後に私達の看護を受けて、〝この世に生まれてきて良かった〟と感じてもらいたいのです』という言葉です。我々に置き換えるなら、〝昭徳会の施設に入って本当に良かった〟と利用者の方々に感じていただけるようにすることです。皆さん一人ひとりがこれらの研鑽を重ねられ、利用者の方々から『あなたに会えて良かった』と言われるような職員になっていただくことだと思います。『真の福祉人』として活躍されることを心より期待

しております」

鈴木理事長からのお言葉の後、一人ひとりに内定証書が手渡されました。

その後、内定者代表として藤田咲也子さん（名古屋養育院配属予定）より、「私達は、まもなく学生から社会人へと新たな道へ進んでいきます。福祉という社会貢献度の高い仕事に就きますが、精一杯貢献し、自らを立派な社会人として成長させていきたいと思えます」と誓いの言葉が述べられました。

その後、昭徳会・谷田和也事務局長より、内定者歓迎の挨拶があり、昭徳会の概要、職員に求められる力などが伝えられました。また、制野司人事部長により「社会人そして福祉人になるために」というテーマで研修が開催され、昭徳会の職員になるための心構えが伝えられました。

今年度は新型コロナウイルスにより入社式（辞令交付式）を開催することができませんでした。来年度は今回の内定者と、入社式に笑顔で出会えることを願っています。 法人本部事務局 人事課長 瀬瀬 純司

# 「スポーツ科学研究科」2021年4月開設

日本福祉大学大学院



写真提供・日本福祉大学大学院

日本福祉大学は、スポーツ科学の発展に寄与できる高度専門職業人の育成をめざして、2021年4月、大学院「スポーツ科学研究科（修士課程）」を美浜キャンパスに開設します（2020年10月23日付けにて文部科学大臣より認可）。今年4月に開設された看護学研究科に続く、本学6番目の大学院研究科になります。

毎日を健康に過ごし、健康寿命を伸ばしていくためには、スポーツや運動、身体を動かすことは欠かせません。このコロナ禍においても、運動は禁止されることなく奨励されました。今の時代を生きる私達の心身の健康にとって、スポーツは大変重要なものになっています。



ただ、スポーツは健康だけが目的ではありません。

アスリートにとっては、スポーツは自己実現そのものです。子どもも大人も、障がい者も高齢者も、男性も女性も、スポーツによって、仲間との絆を深め、多世代で交流することができ、スポーツはすべての人の人生を輝かせ、街そのものを元気にする力も持っています。

そういった時代背景をふまえ、本大学院研究科ではスポーツを通じた共生社会の実現に向けて、スポーツ科学の知見を持つリーダーシップがとれる高度専門職業人をスポーツ関連組織・教育・行政・企業の現場に輩出していきたいと考えています。

お陰様で、2017年に開設したスポーツ科学部は、今年、1年生から4年生がすべて揃い、完成年次を迎えました。

アスリートの育成とスポーツ技術の指導という範囲に留まらず、アスリートの支援、スポーツをする人を増やすための環境整備、スポーツのすばらしさを伝えるための方策、障がい者スポーツや特別支援学校でのスポーツ指導など、多様なニーズに対応した課題を学ぶことができるカリキュラムと教員が揃っていること

が本学の魅力です。

また、学部として外部との連携事業にも積極的に取り組んできました。障がい者スポーツで有名なイギリス・ウスター大学や日本ボッチャ協会とは連携協定を結び、地元美浜町ではスポーツ推進計画策定の支援やパラリンピック教育推進に取り組んでいます。また、スポーツ庁の事業を受託したり、企業とスポーツウェアの共同開発にも取り組みました。

コロナ禍での制約の中、初めての卒業生を送り出すこととあわせて、学部から大学院に進学する学生の受け入れをはじめとする大学院開設準備に教職員一同で取り組んでいます。美浜キャンパスで学部から大学院に至る一貫したスポーツ科学の教育・研究体制の充実を目指し、「ふくし」の総合大学の発展に引き続き努めてまいります。

スポーツ科学部長 藤田 紀昭

#### 【スポーツ科学研究科の概要】

研究科名…スポーツ科学研究科

専攻名…スポーツ科学専攻

学位名…修士（スポーツ科学）

入学定員…10名（収容定員20名）

取得可能資格…中学校教諭専修免許状（保健体育）

高等学校教諭専修免許状（保健体育）

## 幸せの種まき 感謝と親切

立場を通し、仕事を通して

身近にいる人、縁ある人を

喜ばせていきましよう

私達は一人で生きているのではなく、大勢の方のお世話になっているのです。

大乗山 法音寺

## 編集後記

「もう12月か…。今年是一年が経つのが早く感じたね」

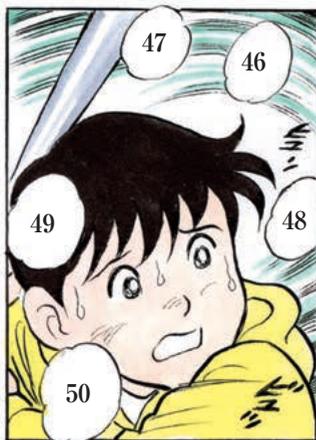
そういう声を多く聞きます。新型コロナウイルス感染症のニュースが連日報道され、例年にならない対応を求められる中、あつという間に時間が経過した印象が強いのでしょうか。

また、「お寺に行くことができず寂しい」という声も多く耳にしました。そのたびに、「支障なくお寺に来ることができていた日々は決してあたりまえではなかった」ということも考えさせられた一年でもありました。

そして、この国難といえる状況も「皆さん、感謝と親切が足りませんよ」という仏さまからの警告と受け止めれば、私達の日々の修養の姿勢を見直すきっかけをいただいたような気がいたします。山首上人さまは「朝の来ない夜はありません」とおっしゃいます。「この長いトンネルを抜けた先には、きっと明るい未来が待っている」と信じて、私達は行住坐臥の唱題と慈悲・至誠・堪忍の修養を積み重ねていこうではありませんか。

# 心の声が聞こえる

竹中 淳











素振りなんか  
だれも見えないから  
サボっちゃえ  
とか：

めんどろな宿題  
なんかやめちゃえ  
って言うんだ



今朝ははつきり  
聞こえたよ  
宿題でなくて  
学校へ行きたくない  
なあって思ったら

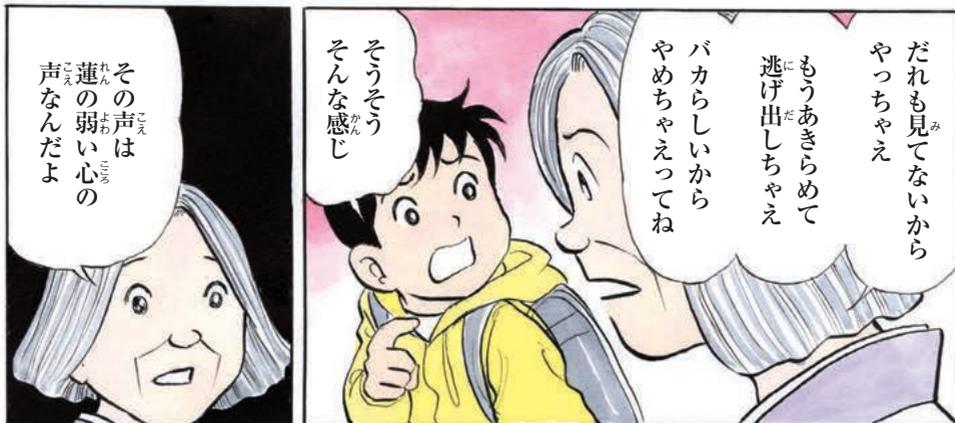
学校なんか  
サボっちゃえほしい  
じゃないかって  
誘惑するんだ



ばあちゃん  
ボク病氣？

そんなことないさ  
だれにでもある  
んじゃないかしら

自分の立場が悪くなったり  
苦しくなったり  
良くないことを  
考えた時に  
自分の頭の中で  
だれかがささやくのさ

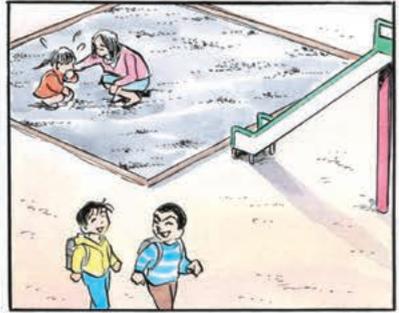


だれも見えないから  
やっちゃえ  
もうあきらめて  
逃げ出しちゃえ  
バカらしいから  
やめちゃえってね

そうそう  
そんな感じ

その声は  
蓮の弱い心の  
声なんだよ







ここに50円  
落ちてましたあ  
だれか落とし  
ませんでしたかあ

おおい



ありがとうございます

お小遣いを  
ここでなくして  
さがしていた  
んです



すみません



みつかって  
よかったね

お兄ちゃん  
ありがとうございます



みつけたのは  
このタケルだよ



またあの声が  
聞こえてきても  
負けないゾ



オレ今  
すつごく  
反省してる  
蓮  
サンキュー

おしまい

# 法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…  
人々を本当の幸せにする仏教の精神で  
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、  
差別を受けたハンセン病を患った人々に  
寄り添い、様々な事情で親をなくした  
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に  
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。  
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を  
運営する中で、本当に人々を救済するには  
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、  
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・  
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を  
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に  
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。  
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、  
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、  
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





# 知恩報恩

「ありがとう」と言う私から  
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

### SNSでつながる法音寺

法音寺公式  
**facebook**で

毎朝7時

『一日一言』  
配信中!!

こちらの  
QRコードから  
ご覧いただけます。



毎週火曜日  
**法音寺メールマガジン**  
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、  
人にやさしく生きていくための  
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから  
メールマガジン登録フォームを  
ご覧いただけます。



**YouTube**にて  
**法音寺チャンネル**  
開設中!!

[https://www.youtube.com/  
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから  
法音寺紹介動画を  
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

### 法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

#### 社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10  
TEL (052) 831-5171  
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6  
TEL (0569) 87-2211  
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

